

# サテイクワ サテイク



صديق و صديقة



江戸川区立第二葛西小学校

JICA 青年海外協力隊

ヨルダんだより No.13

令和5年 8月31日



## “平和”の象徴って・・・？

!!السلام عليكم /アッサラーム アライクム! (こんにちは!)

みなさん、お元気ですか？夏休みが終わり2学期を迎えるころでしょうか。今年の夏はとても暑さが厳しいと耳にしましたが、体調は大丈夫でしょうか。

こちらヨルダンでは、みなさんより少し前に夏休みが明け、**新年度**が始まりました。

ヨルダンの夏もとても暑く、地域によっては気温が**50度**近くまで上がったところもあり、首都アンマン（標高約800m）でも**40度**を超える日がありました。

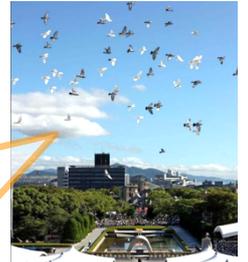
そのような暑さが続いたある日、道端で冷えた水を配っている男性がいました。みんなで理由を尋ねても微笑みを返してくれるだけでした。そして次の日、私の家の近くの道端には、「無料の水」と書かれた紙の上に水が置いてあり、自由に取れるようになっていました。

身近な人と話をしていると、他の地域でも同じようなことがあったようです。

暑さの中にも、ヨルダンに住む人々のこうした優しさに心が温まった出来事でした。



さて、みなさんは、「平和」と聞いてどのようなものを思い浮かべるでしょうか。折り鶴、ハトなどを思い浮かべた人が多いかもしれません。毎年8月6日、原爆の日に広島で行われる「平和記念式典」ではハトが空に放たれ、平和記念公園には折り鶴が飾られています。現在大きな争い事がない日本でも、78年前までは戦争をしており、同じようなことが起こらないよう、今でもみんなで「平和」を願っているのです。（写真：中国新聞社）



しかし、それは日本だけではありません。世界中の人々が「平和」を願っています。世界にはまだまだ国内外で人を傷付けてしまう争いが起こっているからです。前回も少し話題にしましたが、世界的には、ハトだけでなく「オリーブの木」も「平和」の象徴とされています。

Q なぜ、ハトとオリーブの木が平和の象徴になったの??



昔からの神話であり、絵本などにもなっている「ノアの方舟」を知っていますか。神が人間の悪い行いに怒り、大洪水を起こす…というお話です。後に船から空に飛んでいったハトがオリーブの枝を加えて戻ってきたことで、洪水が収まり、平和が訪れたことが由来と言われています。

その後、世界的に有名な画家、パブロ・ピカソ（1881—1973）が制作した「鳩」が世界平和評議会のポスターになったことで「平和の象徴」としてのイメージが広がったようです。



前回紹介した国連の旗等だけでなく SDGsの16のピストグラム「平和と公正をすべての人に」にも「ハト」と「オリーブ」が描かれています。

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/>

16 平和と公正をすべての人に



2004 アテネ 女子陸上 野口みずき選手

4年に一度の平和の祭典と言われる「オリンピック」。実は、金メダリストが頭に被っている冠、こちらも「オリーブ」なのです。（ギリシア神話に由来します。）  
写真：日本オリンピック委員会

実は、この「オリーブ」はヨルダンのある中東諸国にとっては、「平和の象徴」でもあり、日々の「生活」にも欠かせないものなのです。



道端には、家の街路樹として至るところに植えられ、広いオリーブ畑もたくさん見掛けます。



オリーブの段々畑が世界遺産に登録されています。

【世界文化遺産】(2014年)  
オリーブとワインの地パレスチナ-エルサレム地方南部  
馬ティールの文化的景観 (写真: 世界遺産オンラインガイド)



夏頃に実がなり、秋頃に収穫します。この時期のオリーブ農家は大忙しです。葉の色は淡い緑でとても爽やかに感じます。



写真: アルベッラオリーブオイル

ヨルダン産  
オリーブオイル  
この土地の気候が生んだ旨みがあります。



オリーブの実<sup>①</sup>は毎食テーブルに並ぶほどよく食べられ、オリーブオイルはサラダ、漬物、パンでディップする料理など、様々な料理に使われています。

この他にも、動物たちの食用でもあり、大きな木の下では、羊飼いや羊たちの日除け、休憩場所にもなります。身体用のオイルや石鹸、宗教的な行事で使われたり燃料にもなったりします。

木材は食器などに使われています。オリーブは余すことなく長きに渡り人々の生活に溶け込み、生活や仕事として欠かせない存在なのです。

しかし…、ヨルダンの隣のパレスチナでは、争いにより何十年、何百年と育ててきたオリーブの木が何万本となぎ倒されてしまい、仕事<sup>②</sup>がなくなって生活に困ったり、悲しんだりしている人々もいるのです。



写真: Alwaan

そのため、国内外の争いにより、生活が苦しくなってしまった難民の方々のために、この「平和の象徴」であり「生活の一部」である「オリーブ」を使った仕事のお手伝いをしている方がいます。(前号にて一部掲載)



【オリーブ食器ブランド MUUT (ミュート)】代表 大橋希さん <https://muutip.myshopify.com>  
使われていないオリーブの木材で食器を作ることで、難民として暮らす方々への「仕事」を生み出しています。私が工場に訪れた際、職人の方々は「働けることが本当に有難く、楽しい。」と嬉しそうにおっしゃっていました。

このように「オリーブ」は、ヨルダンを含めた中東の国々に住む方々にとっては、とても大切な存在なのです。

最後に、本号初めてあいさつしました“السلام عليكم”「アッサラーム・アライコム」の「السلام サラーム」は、アラビア語で「平和・平安」という意味です。「こんにちは」として使いますが、「あなた方に平安がありますように」という意味が込められているのです。(ちなみに、返事は“و عليكم السلام”「ワライコム サラーム」です。)